

記号
国
番号

検査Ⅳ 国語 解答

【一】 問一各2点×5＝10点。問二各2点×3＝6点。問三4点。問四各2点×3＝6点。問五6点。問六4点。問七10点。問八10点。問九4点。計60点。

問九 イ・ウ	問八					問七					問六	問五			問四	問三	問二	問一
	。	在	に	の	条	受	、	の	の	社	彼	行	こ	承	a	近	I	①
	そ	対	承	件	価	容	自	集	属	会	ら	動	と	認	社	代	オ	啓蒙
	の	し	認	の	あ	す	己	団	す	共	は	が	で	の	会	以	II	
も	、	レ	承	る	る	ル	以	る	通	自	分	、	基	b	前	ア	②	
	の	一	が	認	行	感	レ	外	集	の	分	か	周	準	統	な	III	藝
	の	親	異	と	為	度	ル	の	団	価		ら	困	と	的	な	エ	
	承	和	質	い	を	が	を	価	の	値		な	に	な	価			③
	認	的	な	う	し	育	修	値	価	親		く	自	る	値			娛樂
	で	承	存	点	た	ち	正	親	値	が		な	分	社	親	c		
	あ	認	在	で	か	に	す	に	親	曖		っ	の	会	個			④
	る	レ	を	は	ど	く	る	目	だ	味		て	価	の	人			あお
	と	が	あ	共	う	く	力	が	け	に		し	値	価				
	い	、	り	通	か	な	、	向	を	な		ま	を	値				おとし
	う	愛	の	す	に	る	多	か	重	っ		っ	認	親				
	相	情	ま	る	関	か	様	な	要	た		た	め	が				⑤
	違	に	ま	が	係	ら	な	く	に	た		か	て	多				
	点	基	認	、	し	。	価	な	思	め		ら	も	様				
	が	づ	め	一	な		値	る	い	、		。	ら	化				
	あ	く	る	存	い			親	た	、			え	す				
	る	存	の	在	無			を	め	そ	分		る	る				

記号
国
番号

検査Ⅳ 国語 解答

【一】 問一 2点。問二 (一) (二) 各3点。問三 5点。問四 2点。問五 4点。
問六 4点。問七 (一) 3点 (二) 4点。計30点。

問一	別れ行く
問二	(一) 「たつ」が「立つ」と「裁つ」の掛詞。 (二) 変わらぬ再会を望む心情。
問三	作者は須磨の家居を目にして、光源氏が須磨へ流された時の住居を連想し、心を高ぶらせている。
問四	ア 大蔵谷というものものしい地名と旅人の船を襲う海賊船の噂。
問六	白浜の白砂を雪に見立てた比喻表現を用いることで、砂浜の美しい白さを際立たせる効果を上げている。
問七	(一) 八行四段活用の動詞「迷ふ」の未然形に、打消の助動詞「ず」の未然形及び他への願望を表す終助詞「なむ」がついたもの。 (二) 私は勅命で国を平定するために出かけているのだから、この印南野の浅茅の繁った道にも迷わないでほしいものだ。

【三】 問一 各1点×3＝3点。問二 2点。問三 3点。問四 2点。問五 3点。問六 (一) 2点 (二) 3点。問七 各2点×2＝4点。問八 4点。問九 4点。計30点。

問一	a	かつ	b	いへども	c	つかふる
問二	申し上げる					
問三	玄齡らが宮中の内廷について問うたことに対して、謹んでお詫びを申し上げたということ。					
問四	臣亦不解	問五	最も頼りになる存在。			
問六	(一) ウ	(二) どうして知らずにいてよいだろうか、いや、知らずにいてはいけない。				
問七	A ウ	B ア				
問八	臣の玄 下職分ら と分をが しを全質 て正う問 しすすし いるたこ 道ためと であのは る行、 か為宰 らで相 。あ りし 、て					
問九	太宗は、幸相らに行った自分の行為が、君臣の正しい道に適っていないことを深く恥じた。					